

入間川流域緊急治水対策プロジェクトにおける取組【東松山市】

- 主な取組項目
- ①感染症に配慮した避難所環境の整備
 - ②洪水浸水想定区域図等による浸水リスク情報の周知
 - ③防災情報の的確・多様な伝達手段の充実・促進

①感染症に配慮した避難所環境の整備

1)避難所・緊急避難場所の追加等

- ・避難者の分散化を図るため、避難所・緊急避難場所を追加するとともに、感染症に配慮した避難所運営の一環として、一人当たりの面積を3.5㎡として収容人数の見直しを実施

2)感染症に配慮した避難所開設訓練の実施

- ・感染症対策として自動ラップ式トイレやワンタッチパーテーションを整備し、職員による避難所開設訓練を実施

➤令和3年度は、総合防災訓練の一環として、住民参加型の避難所開設訓練を予定



【受付シミュレーション】



【一般避難スペース】



【感染症予防スペース(教室)】



自動ラップ式トイレ



ワンタッチパーテーション

②洪水浸水想定区域図等による浸水リスク情報の周知

ハザードマップ改訂

防災に対する意識の向上の取組として、ハザードマップを改訂

■主な見直し内容

- ・地震と水害のハザードマップを一冊で作成(A2版からB4版サイズへ変更)
 - ・国、県による洪水浸水想定区域や、県による水害リスク情報図の公表内容を反映
 - ・令和元年東日本台風による被害の記録や、学習情報(マイ・タイムラインの作成案内等)を追加
- 令和3年4月に全戸配布するとともに、各地区を訪問し掲載内容を周知

東松山市 保存版

Higashimatsuyama City 令和3年4月

ハザードマップ

～大切な命を守るために～

東松山市ハザードマップは、想定最大規模の降雨による浸水浸没や土砂災害の発生区域、地震の想定をお知らせし、みなさんが命を守るための対応について、備えたりするためのものです。

目次

地域を知る

- 最新版をめぐって、水害に備えるため 02-03
- 気づきマップ 04-05

水害

- 命を守るために 06-07
- 避難を助ける情報 08
- 浸水被害を軽減する方法 09
- 水害ハザードマップの使い方 10
- 避難経路一覧 11
- 水害ハザードマップ 22-25
- 1 水害地区 22-23
- 2 水害・干渉地区 24-25
- 3 松山地区 26-27
- 4 豊平地区 28-29
- 5 豊北地区 29-31
- 6 島原・高松丘陵地区 22-23
- 7 島原地区 24-25

地震

- 地震から命を守るために 26-27
- 地震ハザードマップ 28-29

備える

- ため込ハザードマップ 30
- 洪水浸水想定区域図 31-33
- 災害時に役立つ情報 34-35

水害時の避難計画

マイ・タイムライン 36-37

02 令和元年東日本台風(台風第19号)による被害の記録
「あの日を忘れずに、水害に備えるため」

広い範囲への記録的な大雨

令和元年10月6日、山形県内などで発生した台風第19号は、12日9時に松山市の中心部を直撃しました。その後も、関東地方を通過し、13日12時に松山市の東部地区に上陸しました。

10月11日の降り始めから13日までの累計雨量(日別雨量)は、本市の最高記録では312mm、松山地区では304mm、豊平地区では542mmとなりました。また、24時間雨量は、松山地区では304mm、豊平地区では501mmとなり、ともに記録的多数観測されました。

高松丘陵地区
高松丘陵地区(07月11日) 24時間雨量

312 mm 304 mm

豊平山麓地区
豊平山麓地区(12月1日) 24時間雨量

542 mm 501 mm

被害の状況

| | |
|-------|---------|
| 死者 | 2人(豊平A) |
| 行方不明 | 2人 |
| 避難者数 | 7,962人 |
| 避難先 | 1,322ヶ所 |
| 浸水 | 1,299戸 |
| 大規模倒壊 | 2,33戸 |
| 倒壊 | 1,715戸 |
| 一部倒壊 | 2,939戸 |
| 穴開け倒壊 | 2,939戸 |

06 水害から命を守るために

まずは河川が氾濫する前に、浸水しない場所へ
市はみなさんの行動を促す避難情報などを発令します。

危険度 警戒レベル 状況 避難情報等 とるべき行動 災害の進展イメージ

警戒レベル 1 早期注意情報

災害の発生が予想される

災害への心構えを怠らぬ

警戒レベル 2 洪水注意情報、大雨注意情報

災害の発生が予想される

自分の避難行動を確認

警戒レベル 3 高齢者等避難

災害の発生が予想される

危険な場所から高齢者等が避難される

警戒レベル 4 避難指示

災害の発生が予想される

危険な場所から全員避難

警戒レベル 5 緊急安全確保

災害の発生が予想される

命の危険、直ちに安全確保!

③防災情報の的確・多様な伝達手段の充実・促進

1)防災行政無線のデジタル化更新工事／戸別受信機の整備【平成30年度～令和2年度】

- ・デジタル化更新工事に伴い、市内75か所の屋外拡声子局（放送塔）について、スピーカ等の機器の更新を実施
 - 令和3年度では、デジタル化の追加整備として、20か所程度、屋外拡声子局の新設やスピーカの追加や変更を予定
- ・防災行政無線の放送内容を自動で受信できる「戸別受信機」について、防災行政無線デジタル化更新工事及び消防庁の戸別受信機配備促進事業を活用し、約3,400台を整備
 - 令和2年度末までに約2,000台を貸与



屋外拡声子局(放送塔)



戸別受信機

2)東松山いんふおメールの登録促進

- ・携帯電話・スマートフォンをお持ちの方で、メール機能が使用できる方は、防災行政無線情報を確認できる東松山いんふおメールの登録促進
 - 出前講座や乳児健診の際、チラシを配布するなどし、登録を促進

【登録を促進している情報】

- ①防災・気象情報・・・大雨警報など
- ②防災行政無線情報・・・放送内容

○登録者数の推移

- ・H31.4 4,566人
- ・R3.7.18現在 7,803人
- ※台風被害前から約70%増